

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本通信を配布します。

## INDEX

- P1: 巻頭言 P2: ヒューマントラスト 会費・集会  
p3: WAM「居場所」事業、学校設立運動  
p4-7: 紹介～「協同」による地域/教育/学び舎づくり  
故鈴木秀一さん「スペイン視察レポート」から  
p8: エッセー、カレンダー、後記 (チラシ:企画など)



### 《写真説明》 < 授業の風景 >

↑ 理科実験:化学・物理を実際に確かめながら…  
表現科:初等/小学生も一緒に絵画・工作や  
デザインなど～自分のイメージを形にします →



## 「民主主義と効率」、そして自由

認定NPO法人北海道自由が丘学園 吉野 正敏

10年一昔といいますが、今から30年位前の事です。往時の職場で教育部門を司っていた時に、役員から「民主主義は望ましいが(手間暇がかかる)、経営体として効率は必須であり、そのバランスが難しい」という会話をされた記憶があります。前者は衆議を一致させるプロセスであり、後者では最小費用/投資・経費で最大の成果(→利潤)を上げねば組織/経営は立ち行かなくなります。

協同組合は理想的には利潤/剰余自体を目的とせず、人と人の結合により共助的目的の実現をめざすという点で《人格共同体\*》ともいえます。しかし、市場経済・競争社会の中ではその特質がときに「足かせ」となり、地域社会ニーズの把握や判断スピードにずれをもたらす場合は、停滞や存続危機を招きかねません。今の社会に生存する様々な民間団体組織、特にNPOはこれらの課題を背負いながら事業活動を実践しています。某ジャーナリスト曰く「お金ではない人間関係づくり…」は大事であり、打算や上下関係・「しきたり」に縛られず＝自由が保障され、かつ持続的に展開するために、《より民主的かつ効率性ある運営や基盤造り》が求められます。

憲法の原則である国民主権についても、議会で多数決原理のもとに少数意見軽視/否定するのではなく、それを国民の多義多元的で現状止揚型の意見として尊重されねば、未来を築く本物の民主制とはいえません。加えて基本的人権、平和主義、(民族等の)自決権などは国際/国連的な普遍的価値\*に繋がります。それから見ても、今問われている政府の学術会議攻撃＝法を曲解&憲法違反は、個別学者「排除」だけではなく、学問の自由(・言論表現の自由)を押えつけ科学や思想を時の政府下に置かんとする封建反動であり、自由が丘が理念に掲げる《自由と協同の人間教育》とも相容れないものです。

新年にむけて、①子ども達が主人公の学び舎、②それを市民・親・教育者と地域が『協同』で担う、という教育における二つの民主主義をさらに推進していかなばと、心新たにしていきます。

注\* 協同組合の仕組み・可能性などは今号p4-7を参照下さい。他方、香港の1国2制度を否定する大国主義は、ついに「反対」派議員追放＝議会破壊や運動家拘束/実刑と、治安維持法の再来版。翻って戦後75年の日本も沖縄の民意真逆の米軍基地対応/暴力的地域環境破壊(・福島も然り)や、現在政府による様々な情報管理・戦争「準備」の法+制度が進行中。